

平成28年度 年間授業計画

都立小山台高等学校・定時制課程

1	教科・科目	化学基礎	2単位
2	対象学年	第3学年	
3	教科担当者	佐藤 裕一	使用教材 なし(指導用プリント)
4	使用教科書	第一学習社「高等学校 新化学基礎」	

5 年間授業計画

学期	月	単 元 (指導内容)	具体的な指導目標	予定時数
1 学期	4月	化学で取り扱う変化 物質の成分と分離	・物理変化と化学変化の違いを理解させる。 ・純物質や混合物とは何か理解させる。	12
	5月	元素記号を覚える 〈中間考査〉	・混合物の分離方法を理解させる。 ・原子番号1~20番の元素記号を覚えさせる。	
	6月	化合物・単体と構成元素 成分元素の確認 原子のなりたち・同位体とその利用 原子の電子配置	・純物質や混合物とは何か理解させる。 ・成分元素の確認方法を理解させる。 ・原子の構造を理解させる ・電子配置や価電子とは何か理解させる。	12
	7月	〈期末考査〉		
2 学期	9月	原子の周期律と周期表 イオン イオンからできる物質 共有結合 分子の構造と極性	・周期表の特徴を理解させる ・イオン生成のしくみを理解させる。 ・イオン結合と組成式を理解させる ・共有結合と構造式を理解させる。 ・構造と極性の関係を理解させる。	14
	10月	分子からできる物質 共有結合・金属結合と金属の利用 〈中間考査〉	・分子や有機化合物、高分子化合物を理解させる。 ・共有結合と金属結合の特徴を理解させる。	
	11月	指数と有効数字 原子量・分子量・式量 物質質量 溶解と濃度 溶解度	・小数や指数の計算、有効数字を理解させる。 ・分子量と式量が計算できるようにする。 ・物質質量の考え方を理解する。 ・質量パーセント濃度とモル濃度の計算方法を理解する。	14
12月	〈期末考査〉	・再結晶の原理を理解する。		
3 学期	1月	化学変化と化学反応式	・化学反応を化学反応式で表せるようにする。	18
2月	化学反応式と量的関係 化学反応における諸法則	・化学反応式を利用して、具体的な計算ができるようにする。		
3月	〈学年末考査〉			

6 学習者への注意

内容を深めるため、実験や自主学習の場面設定を行うので、休まず参加すること。

7 評価の観点、方法

定期考査・出席点・授業に取り組む姿勢・提出物の完成度から総合的に評価する。